

# 川越市 本川越駅西口開設へ 広場 道路整備に着手

川越市は、西武新宿線本川越駅（同市新富町）の西口改札を開設するため、同駅西側に駅前広場とアクセス道路を

を向上させるのが狙い。市は「西口が開設されれば両駅の徒歩による乗り換え所要時間は11分から5分に短縮する」としている。本年度からの2カ年事業で、広場や道路の用地買収は既に終了。2015年度末に供用開始する。

側前に公衆トイレと障害者用乗降口を設置した約2千平方メートルのロータリーと、川越市駅までの市道につながる片側1車線のアクセス道路（全長約75メートル、幅員14メートル）を建設。本年度に実施設計や関係機関との協議を行い、15年度に着手する。総事業費は約13億円（うち買収費11億円）。

本川越駅は北側に改札1カ所が設置され、西側に直線で約400メートル離れた川越市駅に徒歩で行く場合は同駅北側や南側から迂回（うかい）しなければならぬ。このため、地元自治会などから西口改札設置の要望が出ている。

市は同駅西側の住宅地の地権者らと買収交渉を進め、01年度に同駅西口整備計画を決定。今年1月までに買収交渉を完了した。

市によると、1日の乗降客は本川越駅4万8千人、川越市駅3万5千人。

（毛利伸二）

2014. 8. 28  
埼玉